

建築実習（建築類型）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	3	学科・学年	建築インテリア科 3年
使用教科書	新版 建築実習1・2				
	担当教員が配布するプリント、その他教材				

「建築実習」はどんな科目？

・施工実習・設計実習に分かれて、それぞれの実習における基礎から応用力まで身につけます。

「建築実習」の学習の特徴は？

建築の専門に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に学習し、技術革新に主体的に対応できる能力を育てます。

「建築実習」で大切なこと（留意点）は？

- ・使用機材の点検、装備の整備などは開始前に行ってください。
- ・実習は慎重・確実に行い、スムーズな進行に留意して操作を行ってください。
- ・観察・測定・記録・スケッチなど留意事項に注意して、正確緻密に行ってください。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	①設計	<①設計> ・「木造2階建専用住宅」の設計 敷地の状況・家族構成・延べ面積・設備・その他 上記の条件のもと平面配置や造園計画、間取りなどを考えた平面計画、立面計画を行い、屋根の形状を考えた設計ができる。
	5	「木造2階建専用住宅」の設計と条件の把握	
	6	・配置図兼1階平面図、2階平面図	
2 学 期	7	・立面図（南面・西又は他面の2面）	<②施工> ・測量に使用する機器・器具の構造や操作と、距離、角度、高さを測定するために必要な知識、測定法さらに建築の工事現場で行われている工事について学習する。 ・レベル測量:傾斜地においても据え付けができる。 ・セドライト測量:正確な角度が読み取れる。
	9	・断面詳細図	
	10	・面積表	
3 学 期	11	・設計主旨	※2班をローテーションします。
	12	・プレゼンテーション図面の製作	
	1	②施工	
3 学 期	2	・縄張り 建築物の外形を示す	・測量に使用する機器・器具の構造や操作と、距離、角度、高さを測定するために必要な知識、測定法さらに建築の工事現場で行われている工事について学習する。 ・レベル測量:傾斜地においても据え付けができる。 ・セドライト測量:正確な角度が読み取れる。
	2	・水盛り遣り方 レベル測量、セドライト測量を利用して、遣り方を完成させる	
3 学 期	2	・水貫への墨付け レベル測量、セドライト測量を利用して、水系を張る	・レベル測量:傾斜地においても据え付けができる。 ・セドライト測量:正確な角度が読み取れる。
	2	※2班をローテーションします。	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	建築に関心をもち、知識、技術の習得に向けて意欲的に取り組むとともに、設計や施工者としての、創造的・実践的な態度を身につけようとしている。	・出席状況 ・授業態度 ・作品提出 ・レポート提出
思考・判断・表現	建築に関する諸問題を把握し、自らの思考を深め、実践的な事例に対して適切な判断能力を身に付け表現できる。	・作品提出 ・行動観察
技能	建築物の設計や施工にかかわる、実際的な業務に必要な技能を身につけている。	・行動観察 ・作品提出 ・行動観察
知識・理解	建築を包括的に学習し、建築物の構想の具現化に役立つ実践的な知識を身に付けるとともに、建築実習のもつ意義や効果を理解している。	・作品提出 ・レポート提出

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

- ・一つ一つをしっかりと理解して実践力をつける。
 - ・座学で学んだ知識を活かして作品を完成させる。
 - ・自ら積極的に取り組む。
 - ・作業が上手くいかない時も、あきらめずに何度も挑戦する。
 - ・服装や姿勢を正し、安全に留意する。
- 以上の点を頭に置いて実習に取り組んでください。